

# 島根県の死亡野鳥から高病原性鳥インフルエンザウイルスを検出！

環境省は11月5日に島根県松江市で回収された死亡野鳥(コブハクチョウ)1羽について確定検査を実施したところ、11月9日に今シーズン初めて高病原性鳥インフルエンザウイルス(H5N6亜型)が検出されたと発表しました。

## 【今回の事例の経緯等】

### (1)死亡野鳥の確認地点

島根県松江市

### (2)経緯

- ・11月5日、コブハクチョウの死亡個体を発見・回収。
- ・島根県において簡易検査を実施したところA型鳥インフルエンザ陽性反応。
- ・同日、回収地点周辺10km圏内を野鳥監視重点区域に指定。
- ・鳥取大学で確定検査を実施したところ、11月9日に高病原性鳥インフルエンザウイルス(H5N6亜型)と判明。

### (3)今後の対応

- ・野鳥サーベイランスにおける全国の対応レベルを引き上げて(対応レベル1→2)、監視を強化中。

## ◆◆◆鶏など家きん飼養者の皆様へ◆◆◆

- 渡り鳥が飛来する季節となりました。
- 本病の発生予防対策の再点検をお願いします。
  - ・防鳥ネットのチェックなど野生動物の家きん舎への侵入防止
  - ・農場の外と内を明確にして、入場時の人・車両などを消毒
  - ・家きん舎出入口で靴底などを消毒
- 鶏など家きんに異常が見られた場合は、すぐに当所まで連絡して下さい。